

平成 2 5 年

第 6 回仙北市議会臨時会
教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成 2 5 年 1 0 月 2 4 日

平成25年第6回仙北市議会臨時会の開会にあたり、主な事項についてご報告をさせていただきます。

【教育指導課】

◇平成25年度全国学力・学習状況調査について

平成25年度全国学力・学習状況調査は、本年4月24日に、小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に国語と算数・数学のA・B問題について、また、児童生徒への質問紙による学習や生活における意識について実施されました。

昨年度までの抽出方式から悉皆調査へと調査規模が拡大され、本市においては、小学校7校、中学校5校の全ての学校で参加しております。

調査結果の概要は、文部科学省から8月26日に公表され、各校の結果の詳細についても市教育委員会、各校に送付されております。

仙北市の結果の概要は、調査対象全教科について小学校、中学校とも全国平均を大きく上回るものでありますが、全国トップレベルを維持している本県平均との比較では、やや下回る結果であります。

また、児童生徒の意識調査においては、「将来の夢や希望を持っている。」、「学校に行くのが楽しい。」などの肯定的な回答割合が本県平均を上回るものが多く、学力向上への意欲や家庭、学校での安定した生活の様子がみられます。

現在、北浦教育文化研究所及び各学校において、市全体、各学校の結果の分析を進め、市全体の課題、各校の課題を明確にして、日ごろの授業や学力向上施策の改善を進めております。

なお、結果の概要については、市教育委員会日より、ホームページで公表するとともに、各学校においても、自校の結果と改善

策について保護者に説明する機会を持つこととなっています。

◇平成25年度文部科学大臣表彰「学校安全ボランティア活動奨励賞」受賞について

生保内地区の子どもたちの登下校時等の安心安全を見守るボランティア活動を長年続けて参りました「たざわ湖防犯巡回隊」（隊長 坂本邦夫氏）が、平成25年度文部科学大臣表彰「学校安全ボランティア活動奨励賞」を受賞することとなりました。

11月7日・8日に、秋田市で開催される「第63回全国学校保健研究大会」の開会式で伝達されることになっております。

【仙北市民会館】

◇工事の進捗状況について

施設の老朽化に伴う屋根の防水工事及び外壁塗装工事については、工事が完了し外観が以前より落ち着いた雰囲気となりました。

また、昨年度の耐震診断結果に基づき、10月10日を工期に発注しておりました耐震補強工事については、震災の影響から骨材の入手が困難であったこと、また、施設の内装を考慮した工法の変更に伴う設計変更により、来年の2月下旬まで工期を延長いたしました。施工部分については、種苗交換会などへの影響が無いよう安全対策を実施いたします。

【田沢湖図書館】

◇補修工事等の完了について

施設の老朽化に伴う雨漏りや冬季の凍害を解消するための外壁、屋根等の補修工事及び館内内装、付属設備の補修、床張替、トイレ改修等が完了し、清潔で落ち着いた図書館に生まれ変わりました。更に正面玄関前のスロープに手摺りを設置するとともに、花壇の区画等も併せて整備したことにより、従来以上に安全度の高

い環境が確保されました。

今後は、図書館事業の更なる充実を図り、利用者の方々に親しまれ、喜ばれる図書館づくりを目指して参ります。

【学習資料館・イベント交流館】

◇「西木正明展」について

7月6日から9月17日まで開催した企画展「西木正明展」は、1,027人の皆様にご来場いただきました。直木賞受賞作品等の紹介をはじめ、西木先生が旅と冒険で世界を駆け巡った取材の様子等が垣間見られた展示は、来館者の好評を博しました。

また、9月7日には、西木先生の新刊発売記念のサイン会を行いました。西木先生から直接自分の名前を書いてもらえることで、サイン本を受け取った約100人の皆さんの感慨もひとしおだったと思います。

◇文化講演会について

来る10月31日、午後6時から樺細工伝承館において、角館図書館後援会主催による第53回文化講演会が開催されます。今回は、第143回直木賞作家、中島京子先生による「小さいおうちの時代」と題した講演が行われます。皆様のご来場をお待ちしております。

【スポーツ振興課】

◇スポーツ活動状況について

角館高等学校野球部が、夏の大会の激闘に引き続いて、秋の大会でも大活躍し61年ぶりに秋季全県大会を制覇しました。

10月11日から岩手県で開催された秋季東北大会では、秋田県第1代表として出場しましたが、準決勝進出には残念ながら届きませんでした。近い将来、市民の悲願を達成してくれることを

確信し、更なる声援と支援を送り続けたいと思います。

また、第68回国民体育大会「スポーツ祭東京2013」において、カヌー成年男子ワイルドウォーター・カヤックシングル（スプリント）で、佐々木^{すぐる}優選手（食彩げんべい）が7年ぶりの国体優勝、兄の佐々木^{つばさ}翼選手（秋田県体育協会）もスラローム・カヤックシングルで準優勝と活躍しました。また、角館高校の山崎^{しの}詩乃選手も少年馬場馬術競技で2種目に入賞し、秋田県の得点獲得に大きく貢献しました。

【文化財課】

◇「弘道書院」復元に伴う現地試験掘りについて

8月22日と23日に、秋田藩角館郷校「弘道書院」復元に伴う現地の試験掘りを行いました。当日は、山形大学の永井教授をはじめ、秋田公立美術大学の澤田教授や秋田県生涯学習課文化財保護室からも技術指導のご協力をいただき、当時、弘道書院が建立されていたであろう箇所を現地と重ね合わせ、地盤構成や地層の状態、埋蔵物など、既存資料の情報を得るための収集調査を行いました。この結果につきましては、調査報告書がまとまり次第、お知らせしたいと考えております。今後、復元に向けて積極的に取り組んで参ります。

◇「平成25年度おやま囃子コンクール」について

佐竹北家上覧で、各町内の山車が一同に会して行われた「平成25年度おやま囃子コンクール」が、9月8日に佐竹北家御座所で開催され、9日に立町ポケットパークで表彰式を行っております。今年は、天候に恵まれたこともあり、審査会は屋外で行われ、観光客の方々にも大変好評でした。コンクールの結果等につきましては、広報せんぼく9月16日号の“ちいきのわだい”に掲載しております。

◇「白岩焼窯跡き損」箇所の原状復旧調査報告会について

9月10日に、白岩部落会館で白岩焼き窯跡の物理探査を行った調査報告会を開催しました。報告会では、調査をお願いした秋田大学工学資源学研究科の西谷教授の専門分野である物理探査を利用した調査結果や活断層の話に、出席した地元の方や焼き物に関心がある多くの方々が興味深そうに耳を傾けていました。

【平福記念美術館】

◇「女流画家協会 秋田角館展」について

9月17日まで開催された「女流画家協会 秋田角館展」は、前期・後期66日間で、2,110人の皆様にご来場いただきました。具象・抽象の分野を超えた、現代女流画家の華やかな作品を来館者に楽しんでいただきました。また、女流画家協会会員の方々から本館の協力に対し、大変お喜びいただき、新たな絆を築く機会ともなりました。

◇「平福百穂没後80年展」について

9月25日から11月6日まで、樺細工伝承館、新潮社記念文学館との三館合同企画展「平福百穂没後80年展—百穂をめぐる人々—」を開催しております。秋田県立近代美術館所蔵の屏風「寒竹双鶴」をはじめ、ご遺族所蔵の貴重な作品、百穂と交流のあった結城素明、鏑木清方などの作品も多数展示しております。伝承館では、百穂と交流のあった文化人を中心とした資料、文学館では、アララギ派の歌人を中心とした資料を多数展示しております。多方面から多大なご協力をいただき、没後80年という節目に相応しい、素晴らしい展覧会を開催できましたことを感謝申し上げますとともに、市内外から多数の皆さんが、是非三館へご来館くださいますようお願いしております。

◇「郷土画人の屏風展」について

11月12日から23日まで、「郷土画人の屏風展」を開催いたします。平福百穂、穂庵をはじめ、穂庵に師事した岡田^{おかだ}琴湖^{きんこ}等の作品で、本館初公開となる大作「竜虎」など、郷土画人の屏風等を多数展示いたしますので、是非、ご覧いただきたいと思っております。

【国民文化祭推進室】

◇第28回国民文化祭やまなし2013でのPRについて

現在、開催中の第28回国民文化祭やまなし2013において、9月28日と29日に山梨県南アルプス市の桃源文化会館で、大正琴の祭典が行われました。全国から53団体1,100人余りの大正琴愛好者が集う競演に、本県からも2団体が参加しました。仙北市実行委員会からは、大正琴の祭典企画委員長で秋田県大正琴連盟会長の前川盛太郎氏と同企画委員会事務局の藤原仙北市民会館館長が参加し、来年、本市で開催される大正琴の祭典への参加呼びかけとPRを全国の大正琴ファンに向け強力にアピールいたしました。

◇第29回国民文化祭・あきた2014「1年前プレイベント」への出演について

10月12日から14日まで、秋田市のエリアなかいち周辺の秋田県民会館など5会場で、県主催による第29回国民文化祭・あきた2014「1年前プレイベント」が開催されました。このプレイベントには、来年、県内で開催される76イベントのほとんどの関係団体が参加し、本市からは、民俗芸能の祭典、大正琴の祭典、佐藤貞子～秋田おばこ物語～事業から3団体が参加し、本番さながらの熱演を繰り広げました。

◇「アートdeまちあるき」イベントの開催について

10月18日から11月4日まで、角館町中心市街地の10数カ所の会場で、「アートdeまちあるき」イベントが行われています。まちなかの蔵や商店を美術館として生かし、現代アートや地元写真家の写真展示、パフォーマンスなど多彩な催しが披露されております。

19日には、外町交流広場で出展作家や民間の会場提供者などによるオープニングセレモニーが行われました。期間中は、作品展示のほかワークショップやマーチングパレード、蔵の中の音楽会などが開催され、来年の国民文化祭に向けた機運の盛り上げを図っております。

以上、教育行政に関する報告を申し上げ、教育行政報告といたします。